

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー

Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



世界の放射線

Qちゃん 今年はオリンピックの年、世界各国の選手が日本に来るね。そういえば僕たちは普段生活していても放射線を受けるんだよね？それは外国の人も同じなのかな？

つぼくら先生 もちろん外国でも同じように生活する中で放射線を受けるよ。ただ、受ける放射線の量は住んでいるところや生活様式によるよ。ちなみに日本人の平均は下の図のとおり。自然から受ける放射線の量は年間で2.1mSv(ミリシーベルト)となっているよ。対して世界平均では2.4mSvとなっているんだ。

Qちゃん 自然から受ける放射線は日本の方が若干少ないんだけど、量の割合は大分違うね。世界平均は日本人の平均に比べて、大気から受ける量が多いみたい。

つぼくら先生 それはね、住んでいるところによって大気に含まれるラドンという放射性物質の濃さが違うからだよ。ラドンは土や石の中に含まれる放射性物質が変化したもので空気中に広がっていて、私たちは日常的にラドンを空気中から肺に吸い込み放射線を受けているんだ。ヨーロッパのような石造りの家で生活する地域では屋内のラドンが濃くなるから受ける量が多くなるんだけど、日本家屋は木の家が多くて通気性が良いから受ける量は少なくなるんだよ。

Qちゃん そうなんだ。日本人の平均は世界平均に比べて、食品から受ける量が割合的に多いみたいけど？

つぼくら先生 日本人は魚介類の摂取量が多いため、それらに多く含まれる鉛などの放射性物質から被ばくする量が世界平均より比較的多いことが分かっているよ。

ちなみに日本人の平均より世界平均の方が多から、外国に住んでいる人が病気になりやすいなんてことは無く、健康の影響を考えるようなレベルじゃないよ。もっと言うと、世界には日本平均の何倍も放射線を受けるような地域があるんだけど、特に病気になりやすいなんてことは報告されていないんだ。

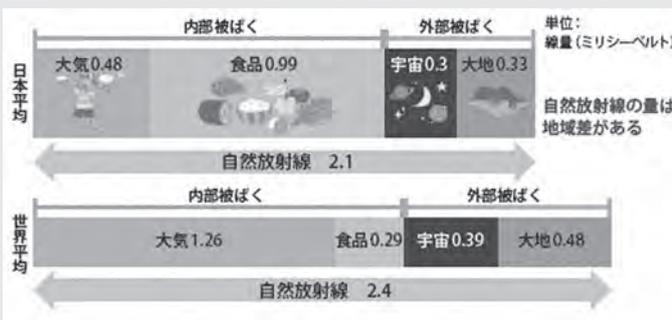
Qちゃん つまり、自然から受ける放射線は住む地域によってさまざまだけど、その多い少ないは気にしなくていいってことだね。

つぼくら先生 そのとおりだね。

ホームページ
はこちらから

●出典

- ▽消費者庁ホームページ
- ▽環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」令和元年度版



今回Qちゃんが分かったこと

- ▽生活する上で自然から受ける放射線の量について、日本は世界平均よりやや低いということ。
- ▽普段の生活で自然から受ける放射線が健康に影響を及ぼすことは無いということ。

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

自家消費野菜などの 放射性物質測定結果

●令和2年12月分 ▽測定件数 4件 (内訳: 野菜2件、果実2件)

▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品 (令和2年12月25日現在) ▽クサソテツ(コゴミ) ▽タケノコ ▽フキノトウ (野生) ▽ゼンマイ ▽タラノメ (野生) ▽原木シイタケ (露地) ▽原木ナメコ (露地) ▽キノコ (野生) ▽コシアブラ ▽ウド (野生)

※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

◎これまでの食品の検査結果 (市ホームページ)

ホームページ
はこちらから



ホームページ
はこちらから



●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)